



## Challenge 15 project

〔鹿沼の“チカラ”を活かすまちづくり〕

### 第2編 各論：基本計画

## 基本目標 1：人を育む

- (1) 結婚・出産・子育て支援
- (2) 教育の充実
- (3) 生涯活躍の推進

# (1) 結婚・出産・子育て支援

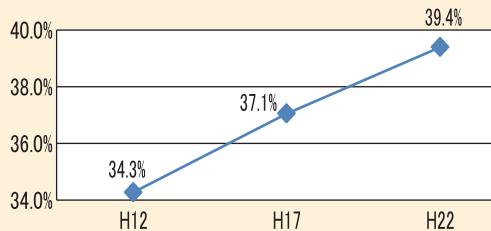
## ①結婚出産支援

### 現状と課題

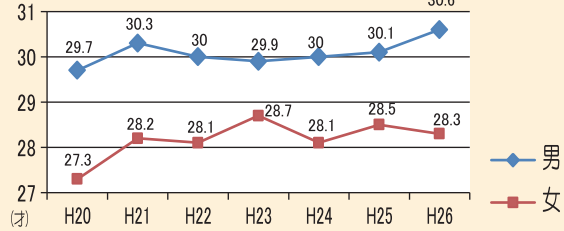
- ・経済的な理由や価値観の変化等もあり、未婚率は上昇しています。
- ・晩婚化・晩産化が進み、それに伴い、不妊治療の助成申請件数も増加しています。
- ・合計特殊出生率は依然、人口置き換え水準を下回ったままで、少子化に歯止めがかからず、人口構造の不均衡を招いています。
- ・子どもを産み、育てるにあたり、経済的負担が課題となっています。
- ・子育て世代等のワーク・ライフ・バランス実現のため、企業とともに行政が多様な働き方ができるような支援策など、労働環境の整備を進める必要があります。

### データ・イメージ

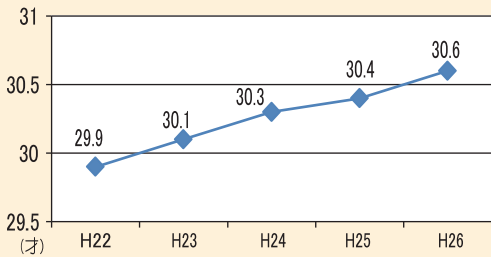
i 20～49才の未婚率の推移（鹿沼市 男女）



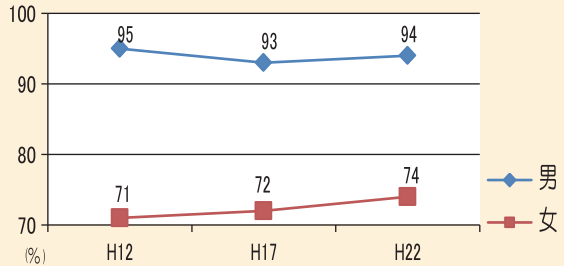
ii 平均初婚年齢の推移（鹿沼市）



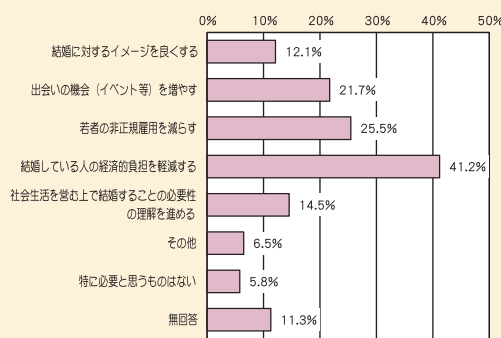
iii 平均初産年齢の推移（全国）



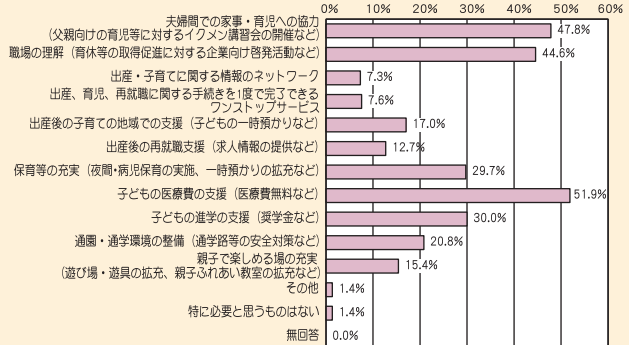
iv 20～49才の労働力率（鹿沼市）



v 結婚に必要な取組（H27 市民アンケート）



vi 出産への課題（H27 市民アンケート）



### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・子ども・子育て関連3法・地域保健法・母子保健法・児童福祉法・少子化対策基本法
- ・鹿沼市子育てにやさしいまちづくり推進条例・鹿沼市子ども・子育て支援事業計画
- ・男女共同参画プラン

計画目標

- ・結婚等の出会いの機会提供の支援から不妊治療、出産前後のサポートまで、切れ目のない対応で、安心して子育てができる環境を整備していきます。
- ・結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育ての不安や負担等の課題を取り除き、社会全体で総合的に少子化対策に取り組み、次の世代の育成を進めていきます。
- ・社会経済情勢が急速に変化していく中、男性も女性も子育てを行うための職場内での機運を高めていきます。

A) 結婚したい人の希望に応える (事業 No.1)

年度	(H27)	(H28)	H29	H30	H31	H32	H33
出会いの場創造協働事業による婚活イベントの参加者数を確保する		・・・	120人	120人	120人	120人	120人

C) 出生率の上昇 (事業 No.1~8)

年度	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	H29	H30	H31	H32	H33
合計特殊出生率	1.36	1.48	1.41					1.43	1.45

B) 女性就職率を改善する (事業 No.8)

年度	(H27)	(H28)	H29	H30	H31	H32	H33
職業紹介による女性就職率 <small>(ハローワークへの女性の新規求職申込件数のうち、就職件数の割合) 全国平均 28.6%(H26)</small>	37.4%	・・・	37.9%	38.4%	38.9%	39.4%	39.5%

※ハローワーク鹿沼・鹿沼地区雇用協会業務概況

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	結婚対策の推進 <span style="float:right">主 総</span>	鹿沼市仲人会支援、出会いイベント実施団体へ補助、とちぎ結婚支援センター運営への参画	人権推進課
2	こうのとりのり事業 (不妊治療支援) <span style="float:right">主 総</span>	不妊治療に関わる保険適用外の医療費の一部助成	健康課
3	大人の風疹予防対策事業 <span style="float:right">New!</span>	妊娠を希望している市民に対して予防接種費用の一部を助成	健康課
4	ハローベビー支援 (妊産婦への支援) <span style="float:right">総</span>	ハローベビー手帳(助成券:妊婦健診14回分、産婦健診2回分)の交付等	健康課
5	妊産婦医療対策	妊産婦の医療費の一部を助成	子育て支援課
6	妊産婦・新生児訪問指導	養育環境の把握、不安等の解消、情報提供、関係機関との連絡調整	健康課
7	“いちごっこかめま”の設置 (子育て世代包括支援センター) <span style="float:right">主 New!</span>	妊娠時からの支援、体制整備、保健師・助産師等の面接の充実、産後ケア事業	健康課
8	子育てを応援する企業への支援 <span style="float:right">主 総 New!</span>	労働団体等の運営支援、関連機関と連携した適正な働き方等の啓発、「企業内子育て環境アップ事業・かめま子育て応援企業認定事業」の見直し	産業振興課

# (1) 結婚・出産・子育て支援

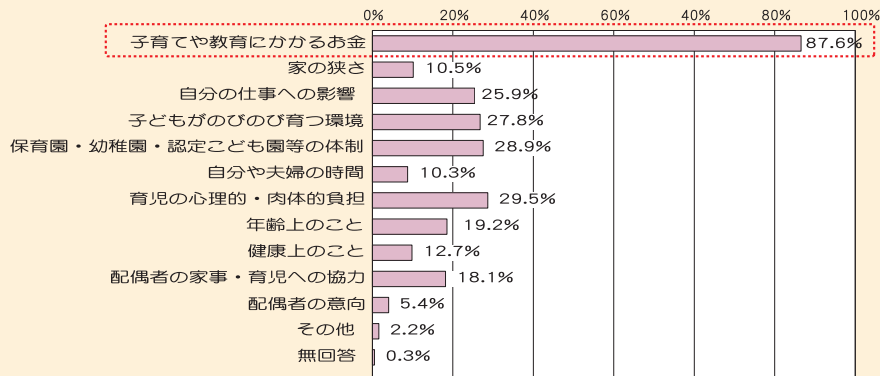
## ②子育て支援

### 現状と課題

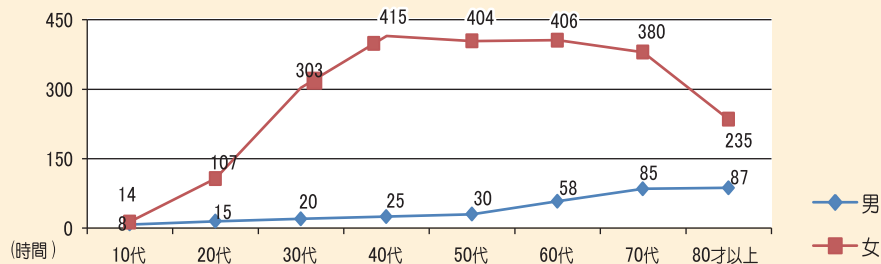
- ・子育て世帯では、経済的負担の軽減を望む声が多くみられます。
- ・女性の就業は増えていますが、依然として女性の家事関連時間が多く、加えて、核家族化や地域のコミュニティの希薄化により、子育てをサポートする体制は弱まっており、より男性の育児参加が求められています。
- ・近隣市町と比較し、子どもの遊び場が充実しているイメージが少ない状況です。

### データ・イメージ

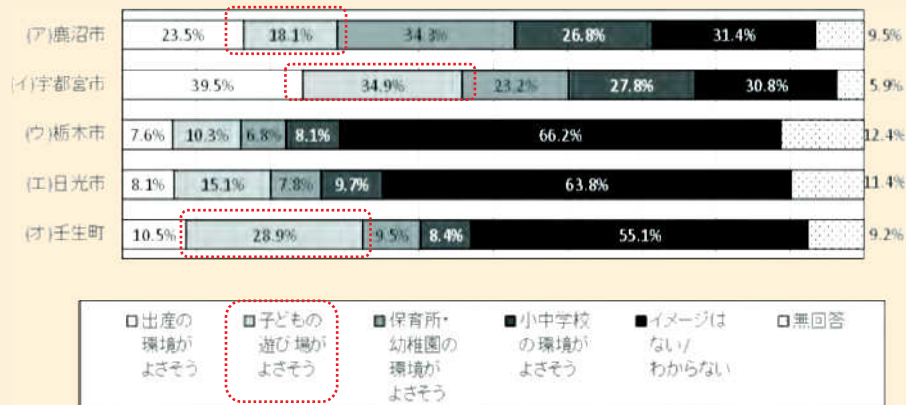
#### i 子どもをもうける時に気になること (H27 市民アンケート)



#### ii 家事関連時間 (週全体 H22 全国)



#### iii 近隣市町の子育て環境イメージ (H27 市民アンケート)



#### 背景 (関連法令等、関連計画)

- ・母子保健法・子ども・子育て関連3法・児童福祉法・鹿沼市子ども医療費に関する条例
- ・鹿沼市子ども・子育て支援事業計画

計画目標

- ・鹿沼の未来を担う子ども達が笑顔で元気に暮らし、誰もが鹿沼に住んで、家庭を築き、子どもを育ててよかったと思えるように、子育てにおける様々な不安や負担を軽減していきます。
- ・仕事と子育ての両立等を始め、地域・社会全体で“かぬまっこ”を育てる総合的な支援で子育て環境を充実させます。
- ・天候を気にせず親と子が元気に遊べる環境を整備します。

A) 子育て支援の充実度（事業 No.1～11） ※世論調査:隔年で実施

年度	H29	H30	H31	H32	H33
子育て支援の充実度が普通以上と答えた市民の割合 (H27 70.2%)	72%	⇒	74%	⇒	76%

B) 子育て相談のしやすい環境づくり（事業 No.5）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
相談利用のべ人数(H27 25,000人)	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	乳幼児健康診査	先天性股関節脱臼検診、4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診	健康課
2	養育医療	入院養育が必要な1歳未満の未熟児に指定養育医療機関での医療を給付	子育て支援課
3	こども医療費の助成 主 総	中学3年生までの児童・生徒の医療費を助成	子育て支援課
4	児童手当の支給	中学3年生までの児童を養育している人に児童手当を支給（要件有）	子育て支援課
5	子育て相談の充実 主 総	各保育園・地域子育て支援センターでの子育て相談「あおば園」での専門指導者による相談 保育園：ひまわりサロン（こじか）、ベリーサロン（茂呂）、あおぞらサロン（清洲）、にっこりサロン（にっこり）	保育課 こども総合サポートセンター
6	地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）	親子が相互に交流を図る場を提供 施設名：鹿沼市つどいの広場「ゆーとりん」	保育課
7	ファミリーサポートセンター事業 総	育児の相互援助活動ができる会員組織「ファミリーサポートセンター事業」の運営を推進し、仕事と家庭の両立支援	子育て支援課
8	子どもの遊び場整備 主 総 New!	雨の日でも乳幼児等が遊べる屋内施設の整備	子育て支援課
9	子育て安全対策事業	チャイルドシート購入費助成事業、幼児2人同乗用自転車購入費助成事業	子育て支援課
10	子育て応援店舗事業	授乳やおむつ替え等のできる場所「赤ちゃんの駅」の登録	子育て支援課
11	こども総合サポートセンターの運営 New!	発達障がい等のある児童・生徒に出生から就労まで関わる、児童・生徒に必要な指導・支援をする	こども総合サポートセンター

## (1) 結婚・出産・子育て支援

### ③保育サービスの充実

#### 現状と課題

- ・ 保育需要の高まりや、多様な保育ニーズに対応するため、保育施設・保育士の確保、公立保育園の民営化等を推進するとともに、認定こども園等の整備が必要です。
- ・ 保育士資格を有するものの、保育職に就かない人が多いことも、保育士確保の課題となっています。
- ・ 少子化にあっても、直近3か年では障がいのある子どもは増加しており、障がい児保育の重要性が高まっています。
- ・ 安心して子どもを預けられる環境整備と、保護者の経済的負担の軽減等が必要となっています。

#### データ・イメージ

##### i 保育園、幼稚園、認定こども園（鹿沼市）

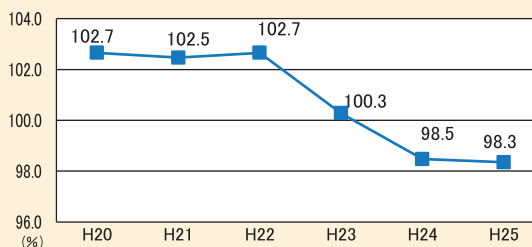
No	区分	保育園	定員
1	公立	こじか保育園	140
2		西保育園	99
3		南保育園	60
4		にっこり保育園	150
5		ひなた保育園	84
6		なんま保育園	60
7		粟野保育園	90
8		粕尾保育園	休館中
9		永野保育園	45
10		板荷児童館	50
11		加蘇児童館	休館中
12	民間	青い鳥幼児園	195

No	区分	保育園	定員
13		津田保育園	150
14		茂呂保育園	200
15		まなび保育園	150
16		日吉保育園	140
17		沖保育園	110
18		沖保育園（分園）	45
19		あつま保育園	200
20		村井保育園	200
21		ざつきが丘保育園	90
22		清洲保育園	60
23		大地の恵みのな-さりい	105

No	幼稚園
1	鹿沼幼稚園
2	聖母幼稚園
3	鹿沼ひかり幼稚園
4	晃望台幼稚園
5	鹿沼みどり幼稚園
6	清滝寺幼稚園

No	認定こども園
1	認定こども園 仁神堂幼稚園
2	認定こども園 いずみ幼稚園

##### ii 保育所定員に対する充足率の推移（鹿沼市）



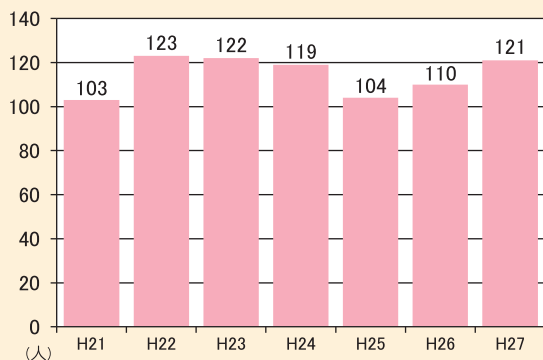
##### iii 保育士と他業種給与差(H27 全国)

	保育士	全産業
平均月収	21.9万円	33.3万円
平均年齢	35.0歳	42.3歳

##### iv 鹿沼市待機児童の推移（毎年度 4/1 時点）

	H23	H24	H25	H26	H27
0歳	0人	0人	0人	0人	0人
1歳	0人	0人	0人	0人	0人
2歳	0人	0人	0人	0人	0人
3歳	0人	0人	0人	0人	0人
4歳	0人	0人	0人	0人	0人
5歳	0人	0人	0人	0人	0人

##### v 鹿沼市児童発達支援センターあおば園入所児童推移



#### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・ 児童福祉法・子ども・子育て関連3法・認定こども園法・鹿沼市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する規則・鹿沼市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱
- ・ 鹿沼市私立幼稚園特別支援教育費補助金交付要綱・鹿沼市保育園整備計画
- ・ 鹿沼市子ども・子育て支援事業計画

計画目標

- ・保育・教育のニーズに応え、民間活力を導入しながら、保育園等の整備を推進します。
- ・病児・病後児保育をはじめ、「子ども・子育て支援事業計画」に沿って、計画的にニーズ量に対して受け入れ体制を確保していきます。
- ・特に0～2歳児の保育需要が見込まれるため、保育士の処遇改善により人材を確保する等、待機児童の解消を目指していきます。
- ・乳幼児期の保育・教育は、子どもたちの「生きる力」の基礎や豊かな感性、その後の教育基盤を培う重要なものであり、更なる充実と、小学校等との連携に努めていきます。
- ・親同士の交流の促進や子育てに関する相談・情報提供などにより、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげていきます。
- ・本市では公私全ての保育・教育施設で、障がい児の受け入れが可能であり、保育士・教諭等を適切に確保し、ケースによっては職員を加配する等の体制強化を進めていきます。

A) 適正な保育サービスの提供（事業 No. 1、2、3）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
教育・保育量に対する確保率（H25：98.3%）	112%	114%	116%	116%	116%

B) 合計特殊出生率を上昇させる（事業 No. 4、7） ※再掲

年度	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	H29	H30	H31	H32	H33
合計特殊出生率	1.36						→	1.43	1.45

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	保育サービスの充実 <span style="float: right;">主 総</span>	通常保育・特別保育、認可保育園、認定こども園、地域型保育事業施設、認可外保育施設等	保育課
2	保育園等の整備 <span style="float: right;">主 総</span>	公立保育園の民営化の推進、多様化する保育ニーズに対応し安心して預けられる保育環境の整備	保育課
3	障がい児保育の支援 <span style="float: right;">主 New!</span>	市全体の障がい児保育のサポート	保育課
4	保育料の軽減 <span style="float: right;">総</span>	3人以上の児童を育てている世帯に対し第3子以降の児童の保育料を免除	保育課
5	食育保育の推進	食育だより、保護者会等を通して給食レシピを家庭へ紹介 早寝早起き朝ごはんの大切さを保護者会で啓発 食育まつり等を開催して食育の重要性を啓発	保育課
6	ひとり親病児保育料支援 <span style="float: right;">総 New!</span>	ひとり親の病児及び病後児保育料の半額を助成	保育課
7	私立幼稚園就園奨励事業 <span style="float: right;">総</span>	私立幼稚園の就園に補助金を交付、幼稚園第3子以降保育料等支援	保育課
8	幼稚園障害児教育支援	私立幼稚園へ就園させる際に教育に係る経費の一部を補助	保育課

## (1) 結婚・出産・子育て支援

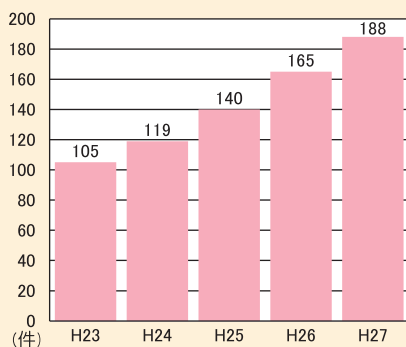
### ④ 良好な家庭環境の構築

#### 現状と課題

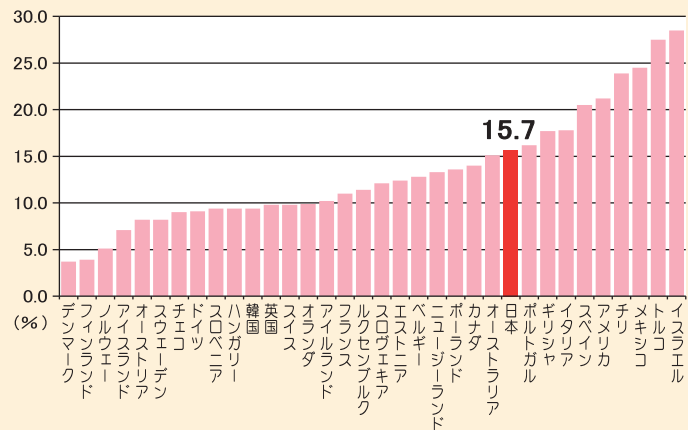
- ・核家族化や離婚率の増加など、家庭や地域での子育て機能が弱体化しています。
- ・虐待対応件数も年々増加傾向にあり、養育機能の弱い家庭への相談・支援体制の充実が求められています。
- ・子どもの貧困率は経済協力開発機構（OECD）加盟34カ国中、日本は10番目に高くなっています。
- ・少子化の進行等により、ひとり親家庭数はやや減少傾向にあります。

#### データ・イメージ

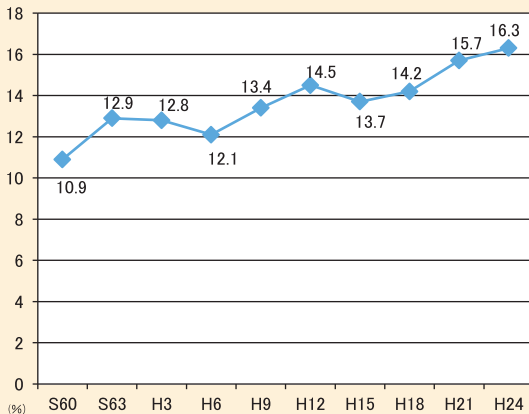
i 虐待相談受理件数（鹿沼市）



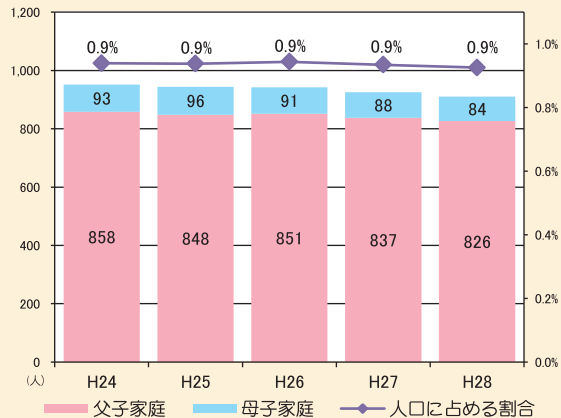
ii 子どもの貧困率（H22 世界）



iii 子どもの貧困率の推移（日本全体）



iv ひとり親家庭数等の推移（鹿沼市）



#### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律・児童扶養手当法・母子保健法・母子及び父子並びに寡婦福祉法・子ども子育て関連3法
- ・鹿沼市子ども・子育て支援事業計画



計画目標

- ・児童虐待防止の普及啓発や、速やかな虐待対応、また、関係機関との連携や家庭相談員のスキルアップ等により、良好な家庭環境構築を支援します。
- ・低所得家庭や、ひとり親家庭等の経済的自立に向けた相談・支援体制を充実します。
- ・様々な問題により養育のための支援が特に必要な家庭には、訪問・相談・助言・育児・家事支援等を行い、不安や負担を軽減し、児童福祉と母子保健双方の観点から効果的に支援します。

A) 児童虐待等への速やかな対応（事業 No.1）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
要保護児童及び要支援家庭に対する専門的支援の実施率（H27：100%）	100%	100%	100%	100%	100%

B) ひとり親家庭の生活安定と就労支援（事業 No.6）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
給付金を支給したひとり親の就業率	100%	100%	100%	100%	100%

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	児童虐待防止対策 主 総	家庭相談員による相談業務、要保護児童対策ネットワーク会議開催、オレンジリボン運動の実施	こども総合サポートセンター
2	育児支援家庭訪問事業	家庭相談員及び保健師等による専門的支援、ヘルパーによる家事支援の実施	こども総合サポートセンター
3	児童扶養手当の支給	父又は母の一方からしか養育を受けられない一人親家庭に児童扶養手当の支給（高校3年修了相当まで）	子育て支援課
4	要支援児童の社会参加への支援	青少年相談員による相談業務	こども総合サポートセンター
5	ひとり親家庭医療対策 総	ひとり親家庭と児童（高校3年修了相当まで）の医療費を助成（要件有）	子育て支援課
6	ひとり親家庭福祉・雇用対策 主 総	相談業務、資格技能取得に対しての給付金支給、雇用の支援、福祉資金の貸付、ひとり親家庭福祉会の活動支援	こども総合サポートセンター 他
7	遺児手当の支給	父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当を支給	子育て支援課

## (2) 教育の充実

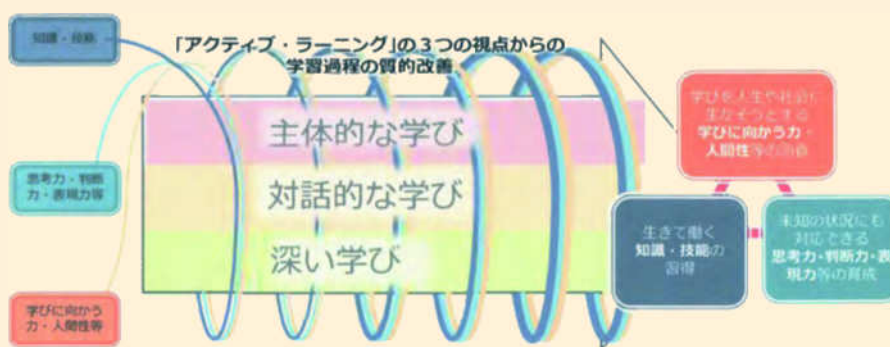
### ① 確かな学力の育成

#### 現状と課題

- ・ 学力向上を目指すために、児童生徒の学ぶ意欲を高め、学習習慣を定着させるとともに、教員の指導力向上が求められています。
- ・ 国際的な環境の中で活躍する資質・能力が求められているため、グローバル化に対応できる人材を育成することが必要です。
- ・ 複雑・多様化する社会情勢の中で、特に ICT 等の学習環境を充実させていくことが必要です。

#### データ・イメージ

##### i アクティブ・ラーニングのイメージ



#### 【アクティブ・ラーニング】

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図ります。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれますが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法です。

##### ii タブレットパソコンでの学習



##### iii スクールバス



#### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・ 教育基本法・学校教育法・第2期教育振興基本計画

計画目標

- ・バランスのとれた健やかな児童生徒の育成と教員の指導力向上を進め、学校教育の充実を図ります。
- ・グローバル化や、ICT化に対応できる人材の育成を目指し、ALT等の増員や、ICT学習環境の整備によって、児童・生徒の英語力や異文化への理解、ICTの活用能力を向上させていきます。
- ・論理的思考力や表現力をはじめとした国語力も重要であり、発達段階に応じた国語教育の実施や、知識を増やし、視野を広げるために、本を読む習慣を身に付けさせていきます。
- ・次代を担う子どもたちに、より良い教育環境を提供することを第一に考え、保護者、地域住民、学校関係者からの意見を踏まえ、地域の特色や実態に合った小中学校の適正配置を進め、廃校後の利活用も検討していきます。

A) 教員の指導力の向上 (事業 No.1)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
全国学力・学習状況調査の平均正答率 (小学6年、中学3年)	全国平均と同程度	全国平均と同程度	全国平均と同程度	全国平均と同程度	全国平均と同程度

B) 英語のコミュニケーション能力向上を目指す (事業 No.2)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
英検3級以上取得率(中学3年次)	18%以上	20%以上	25%以上	28%以上	30%以上

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	教員の指導力向上事業 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">主</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">New!</span>	教育に関する調査研究、教員研修、教育情報の提供	学校教育課
2	英語教育の拡充・強化 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">主</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">総</span>	ALTの配備や教員への英語教育研修実施 中学生の英検受験の環境整備 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">New!</span>	学校教育課
3	公立学校非常勤講師の配置	多人数学級や複式学級等を有する学校に非常勤講師を配置	学校教育課
4	ICTを活用した学びの推進	教職員向けICT活用教育研修会の実施、ICT機器を活用した授業の実施	学校教育課
5	小中学校の適正配置	小中学校適正配置等基本計画に基づき適正配置を実施	学校教育課
6	要保護・準要保護児童生徒への支援	経済的に就学困難な児童生徒に学用品費等を支給	学校教育課
7	スクールバスの運行	遠距離通学児童生徒の負担軽減のためにスクールバスを運行	学校教育課
8	未来へつなぐ奨学生支援事業 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">総</span>	経済的理由により修学困難な高校生・大学生対象の奨学金貸付、奨学生に市内就職情報を案内	教育総務課
9	子どもの読書活動の推進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">主</span>	本を読む子どもの集い・ブックスタート(乳幼児期に本を通して親子のふれあいの大切さを伝える)・おはなし会の実施、学校図書館との連携「読書通帳」の導入 <span style="border: 1px solid blue; padding: 1px;">New!</span>	図書館

## (2) 教育の充実

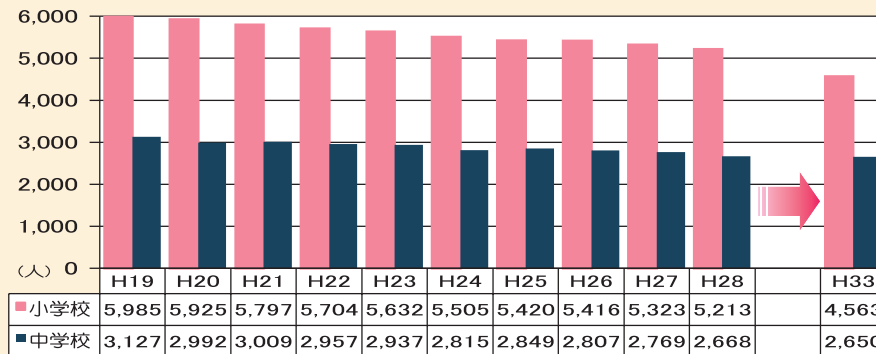
### ②豊かな心・健やかな体の育成と学びの基礎づくり

#### 現状と課題

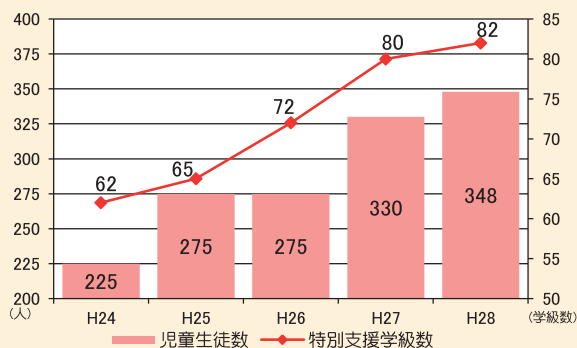
- ・いじめや不登校等は、早期発見、適切な初期対応、未然防止に向けた一層の取組が必要です。
- ・子供たちが直面する様々な現代社会の課題を、自分で解決できる能力を身に付ける必要があります。
- ・児童生徒数が減少する中、特別支援教育の対象となる児童生徒は増加しているため、ニーズに合わせたきめ細かな就学前からの対応が必要です。

#### データ・イメージ

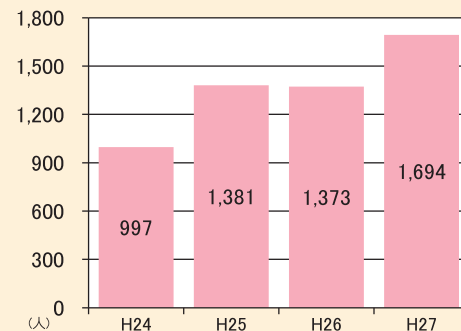
##### i 児童生徒数の推移及び見込み



##### ii 特別支援教育の対象児童生徒の推移



##### iii 教育相談人数の推移



##### iv さつきランチ (事業 No. 5)



##### v イングリッシュキャンプの様子 (事業 No. 8)



背景 (関連法令等、関連計画)

- ・教育基本法・学校教育法・いじめ防止対策推進法・発達障害者支援法・学校給食法・食育基本法

計画目標

- ・悩みを抱える子どもたちの成長に合わせ、それぞれの個性を尊重した適切な対応ができるよう、相談員やカウンセラー等の人材を確保し、相談体制の充実を図ります。
- ・情報モラル、いじめ問題、人権問題など、現代社会の課題に対応した施策の展開を図り、生きる力を育みます。
- ・障がいのある児童生徒が十分な教育を受けられるよう、支援体制の充実を図ります。
- ・共生社会の形成に向けて、一人ひとりに応じた指導者支援に加え、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムを構築するため、特別支援教育の推進を図ります。

A) 世界にも目を向けられる児童生徒を育成 (事業 No.8)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
イングリッシュキャンプ参加者満足度 (やや満足・満足の割合)	75%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上

B) 自らの判断で自らの命を守る (事業 No.10)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
防災教育プログラムの活用率	75%	80%	90%	95%	100%

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	教育相談の充実	児童生徒及び保護者並びに教員に対して教育相談員が様々な教育相談を実施	学校教育課
2	いじめ防止対策の充実	いじめ問題を未然に防止するための体制整備	学校教育課
3	情報モラル教育の推進	教職員向け情報教育研修会の実施、各学校での情報モラル教育の実施	学校教育課
4	わくわくネーチャー事業の推進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">総</span>	「森の教室」、「かめまっ子わくわくキャンプ」事業などの実施	自然体験交流センター
5	学校における食育の推進	さつきランチ（市特産物献立）の提供、家庭料理教室の実施、食物アレルギー研修会の開催	学校給食 共同調理場
6	教育研究所事業の推進	教育に関する調査研究、教育相談、教員研修、教育情報の提供の実施	学校教育課
7	幼小連携推進事業 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	幼稚園・保育園から小学校への円滑な接続のためのスタートカリキュラムの実施	学校教育課
8	国際理解教育の推進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">主</span>	児童生徒対象のイングリッシュキャンプの実施 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	学校教育課
9	外国人児童生徒支援	日本語ボランティア等による外国人児童生徒への支援	学校教育課
10	学校における防災体制の充実と防災教育の推進	様々な災害を想定した訓練の実施、災害に対する正しい知識を身に着ける教育の実施	学校教育課
11	自然生活体験学習の推進	小学4年生・中学1年生を対象に2泊3日を基本として自然体験交流センターで実施	学校教育課、 自然体験交流センター
12	人権教育の推進	人権講演会の実施、人権作文集作成、人権教育副読本作成	学校教育課
13	インクルーシブ教育システムの構築 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	障がいのある子とない子が同じ場で共に学ぶことができるような就学支援体制の構築	学校教育課
14	特別支援教育のサポート体制の充実 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	「のびのび発達相談」、学校巡回相談の実施、盲・聾・養護学校との連携促進	学校教育課

## (2) 教育の充実

### ③地域で育む教育の推進

#### 現状と課題

- 学校や教員によって地域との連携に対して温度差があり、地域差が生まれています。
- 子どもたちの安全安心の確保は、学校だけの課題に留めず、地域全体で取組体制を構築していく必要があります。
- 放課後子ども教室等、地域における子どもの居場所づくりは、地域のニーズにあわせて推進していく必要があります。

#### データ・イメージ

##### i 学校支援ボランティアによる主な支援内容

授業支援
家庭科授業支援（ミシン、調理） そろばん指導・農業体験指導 校外学習引率
学習環境づくり支援
児童生徒登下校時の見守り 給食配膳・樹木剪定 読み聞かせ
放課後活動支援
お囃子指導・部活動指導

##### ii 交通指導員の立哨の様子



##### iii 放課後子ども教室活動の様子



##### iv 特色ある学校づくりの事例



#### 背景（関連法令等、関連計画）

- 子ども・子育て関連3法・社会教育法・鹿沼市安全安心なまちづくり条例・次世代育成支援対策（前期行動計画）・鹿沼市子ども・子育て支援事業計画

計画目標

- ・地域の人材や様々な教育資源を活用しながら、学校や地域の実態に基づいて、創意工夫を生かし、各学校独自の特色ある教育、地域に根ざした特色ある学校づくりを計画的・持続的に推進し、効果的な活用方法は水平展開も検討していきます。
- ・地域に開かれた学校を目指し、子どもを事故や犯罪から守るため、学校・保護者・地域の連携を支援し、地域全体で子どもたちを見守り育てていきます。
- ・学校現場だけでなく、地域住民や、NPO 法人、ボランティア団体、民間の教育事業者等、様々な関係機関と連携し課題の解決に努めていきます。
- ・家庭教育は、学校教育と共に子どもたちへの教育の両輪であり、訪問型支援など新しいアプローチで支援していきます。
- ・放課後も、全ての児童が安全・安心な居場所の中で多様な活動を行うことができるように、小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携を強化し、居場所を安定・継続的に確保していきます。

A) 家庭教育の推進 (事業 No.3)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
PTA 会員に対する家庭教育学級参加者数の割合	47%	48%	49%	50%	50%

B) 子どもたちの居場所づくり (事業 No.8)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
放課後子ども教室設置数	10 か所	11 か所	11 か所	12 か所	12 か所

C) 児童生徒の安全確保 (事業 No.9)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
児童生徒の事件事故被害者数	前年度比 10%減	前年度比 10%減	前年度比 10%減	前年度比 10%減	前年度比 10%減

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	特色ある学校づくり 主 総	各地域の特色を活かした教育活動の展開	学校教育課
2	コミュニティスクール (学校運営協議会) の設置 New!	地域の人々が学校運営に参画する仕組みづくり	生涯学習課
3	家庭教育の支援	家庭教育学級への支援や家庭教育に関する講演会等の開催	生涯学習課
4	学校・家庭・地域の連携協力推進事業「地域未来塾」 主 総 New!	経済的な理由等で学習の遅れがちな中学生を対象とした学習支援の場の設置	生涯学習課
5	学校支援ボランティア活動推進事業	学校教育活動を支援するボランティアの配置	生涯学習課
6	地域に開かれた安全安心な学校づくり	安全啓発物資の配布、青色防犯パトロールの実施、「子ども 110 番の家」の登録推進	生涯学習課
7	放課後児童健全育成事業 主 総	学校や専用施設等で放課後児童の健全育成を実施	子育て支援課
8	地域で育む子どもの居場所事業 主 総	放課後子ども教室や待機スペースの設置・開催支援	生涯学習課
9	通学児童生徒の安全確保	交通指導員の立哨、通学路危険箇所への対応	生活課

## (2) 教育の充実

### ④教育環境の整備

#### 現状と課題

- ・校舎の耐震化はおおむね完了しましたが、北小学校木造校舎耐震改修と非構造部材の耐震改修が必要です。
- ・老朽化の進んだ学校施設の長寿命化整備や、老朽箇所等の改修が必要です。
- ・児童生徒が安全かつ円滑に教育を受けられるよう、学校備品の更新など、教育環境の充実を図る必要があります。
- ・学校給食調理施設は、鹿沼市学校給食共同調理場及び粟野地区学校給食共同調理場の設備の老朽化が著しく、安全・安心な給食を安定的に提供するために、設備改修が必要です。

#### データ・イメージ

i 校舎 (北小学校)



ii 木製の机・イス



iii 学校給食調理の様子



背景 (関連法令等、関連計画)

- ・学校給食法・学校施設整備計画



計画目標

- ・子どもたちがより良い環境で教育を受けられるようにするため、エアコン設置やトイレの洋式化等、学校関連施設を計画的に整備します。
- ・安全でおいしい給食の提供のため、調理場の管理や業務の効率化を推進します。

A) 学校関連施設の整備（事業 No.1）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
小学校普通教室等空調機設置 児童数カバー率	60% (8校)	90% (14校)	⇒	⇒	100% (1校)

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	小中学校の整備 <span style="float: right;">主</span>	小中学校普通教室等への空調機設置や外構（雨水対策）工事	教育総務課
2	小中学校の耐震化 <span style="float: right;">主</span>	木造校舎及び非構造部材の耐震化工事	教育総務課
3	小中学校の長寿命化整備 <span style="float: right;">主</span>	学校トイレの洋式化や校舎及び屋内運動場の雨漏り改修等の老朽化箇所等の整備	教育総務課
4	学校防犯設備等の整備	学校門扉・フェンスの整備及び改修、危険箇所の改善	教育総務課
5	より良い教育環境の整備	児童生徒用机・椅子（木製も含む）や老朽化の進んだ学校備品の計画的な更新	学校教育課
6	教育のICT環境整備	パソコン機器の更新	学校教育課
7	安全・安心な学校給食運営	学校給食の調理・配送業務等委託、各調理場施設の改修及び維持管理	学校給食 共同調理場

### (3) 生涯活躍の推進

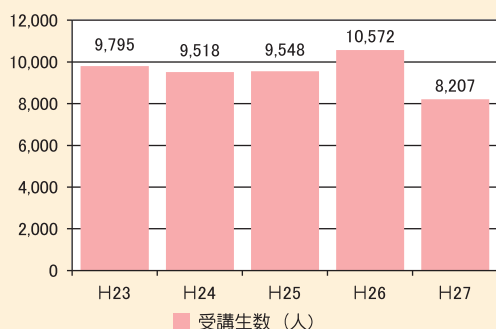
#### ①学びと社会参画の推進

##### 現状と課題

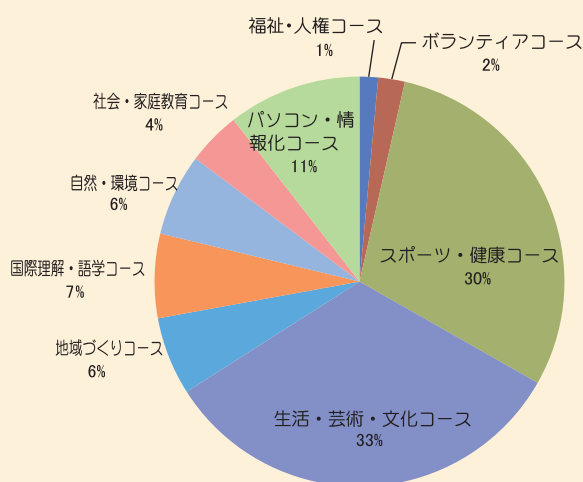
- ・全ての年齢において、学校・職場・家庭という枠にとらわれずに、地域で積極的に活動をしたいという人を応援できる環境づくりが必要です。
- ・社会教育施設の老朽化に伴い、機能維持と長寿命化が必要である一方、若者が集える場が不足しています。
- ・シルバー人材センターや高齢者福祉センターの利用など、一定数の高齢者が積極的に活動しています。

##### データ・イメージ

#### i 生涯学習大学受講者数の推移



#### ii 生涯学習大学の講座の分類



#### iii 市子ども会連合会キャンプの様子



#### iv 高齢者の活動状況

区分	H23	H24	H25	H26	H27
シルバー人材センター会員数	623人	604人	604人	594人	611人
老人クラブ数	88クラブ	86クラブ	84クラブ	84クラブ	85クラブ
老人クラブ会員数	3,419人	3,219人	3,099人	2,910人	2,845人
ほっとホーム利用人数	8,429人	8,195人	7,626人	7,679人	7,321人
ほっとサロン団体数	40団体	44団体	45団体	47団体	49団体
高齢者福祉センター利用人数	77,655人	85,775人	85,495人	90,282人	88,192人
高齢者・障害者トレーニングセンター利用人数	17,266人	18,631人	24,275人	24,637人	19,639人

#### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・教育基本法・社会教育法・子ども・若者育成支援推進法
- ・高齢者等の雇用の安定等に関する法律・かぬま 21 世紀「学びのまち」推進プラン

計画目標

- ・市民自らが取り組む学習活動を支援し、その学習を活かせる場をつくります。
- ・地域で積極的に活動できる青少年を育成し、まちづくりにつなげていきます。
- ・社会教育施設の機能維持と長寿命化を図り、若者が自由に音楽交流などをできる環境を整備していきます。
- ・高齢者の充実した人生を後押しします。

A) 市民が自ら取り組む学習活動の支援 (事業 No.1)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
生涯学習大学受講者数	8,200人以上	8,400人以上	8,600人以上	8,800人以上	9,000人以上

B) 青少年による自主的な活動の推進 (事業 No.6、7)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
青少年によるまちづくり提案事業数	2件	2件	2件	2件	2件

C) 高齢者の地域社会活動への参加促進 (事業 No.10)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
ほっとサロン団体数	53団体	56団体	59団体	62団体	65団体

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	生涯活躍のまち鹿沼推進事業	かめま生涯学習大学の運営、かめま学びフェスティバルの開催	生涯学習課
2	市民情報センター及び文化活動交流館改修	老朽化した施設の改修	生涯学習課
3	青少年育成団体の支援	市子ども会連合会・市青少年育成市民会議の運営支援	生涯学習課
4	青少年指導センターの活動推進	少年指導員による街頭指導、少年指導相談の実施	生涯学習課
5	成人の日関連事業の推進	実行委員会による成人の日のつどい開催、新成人と市長との懇談会開催	生涯学習課
6	青少年の自立支援	青少年リーダー教室の実施、青少年ボランティア団体への支援、まちづくり講座等の開催	生涯学習課
7	青少年の主体的なまちづくりへの参画促進 <span style="float:right">総</span>	若者が企画した事業の実現を支援	生涯学習課
8	困難を抱える若者の自立支援 <span style="float:right">New!</span>	ひきこもりに対する支援体制確立のための会議・研修会の開催	生涯学習課
9	若者の集いの場の整備 (青少年の活動拠点の充実) <span style="float:right">主 New!</span>	若者が音楽に親しみ仲間づくりや交流を行える場の整備	生涯学習課
10	高齢者の生きがいづくり	シルバー人材センター、老人クラブ、ほっとホーム、ほっとサロン、高齢者福祉センター、高齢者・障害者トレーニングセンターの運営支援・活用	高齢福祉課

### (3) 生涯活躍の推進

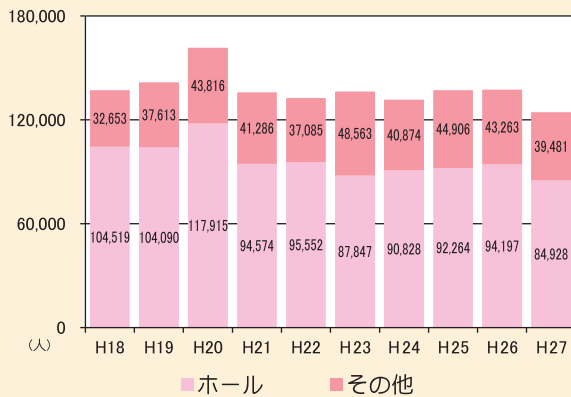
#### ②文化芸術活動の促進

##### 現状と課題

- ・文化芸術活動団体の高齢化が進み、後継者や団体運営者の育成が急務となっています。
- ・市民文化センターの老朽化が進み、長寿命化のためのメンテナンスが必要です。
- ・川上澄生美術館は、広域連携事業など今までとは違った視点での事業を企画し、さらなる誘客を図る必要があります。

##### データ・イメージ

##### i 文化センター利用者数の推移

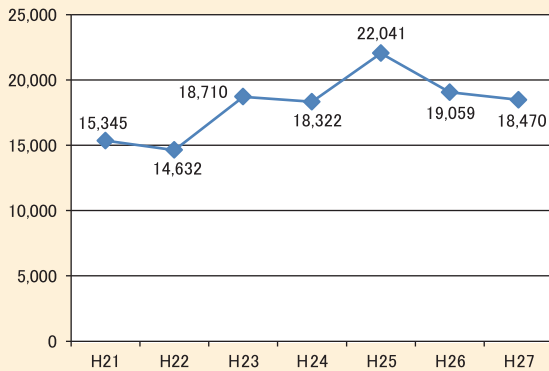


##### ii 文化団体活動の様子



市民文化祭 (ダンス)

##### iii 川上澄生美術館利用者数の推移



##### iv 美術館の収蔵品



川上澄生《初夏の風》1926(大正15)年  
木版多色刷 紙

##### 背景 (関連法令等、関連計画)

- ・文化芸術振興基本法・博物館法・鹿沼市川上澄生美術館条例
- ・第2期鹿沼市文化芸術振興計画

## 計画目標

- ・市民が自ら取り組む文化芸術活動と、その後継者育成や運営を支援し、活動の場として市民文化センターの活用を促進します。
- ・美術館等文化施設では、新たな来場者獲得のため、他館や他都市との連携・交流を進め、新たな事業を展開していきます。

## A) 市民文化センターの活用促進（事業 No.3）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
市民文化センター利用者数	前年度比3%増	前年度比3%増	前年度比3%増	前年度比3%増	前年度比3%増

## B) 美術館事業の推進（事業 No.4）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
美術館事業総利用者数	16,200人	16,300人	16,400人	16,500人	16,600人

## 具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	文化芸術活動団体への支援	文化協会や音楽団体の運営支援	文化課
2	文化芸術交流事業の推進	市民文化祭や各種芸術関係大会の開催 「(仮称)市民の文化芸術交流の日」制定の検討 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	文化課
3	文化の杜の形成 鹿沼市民文化センターの活用促進	文化センター自主事業の実施、施設改修	文化課
4	川上澄生美術館事業の推進	企画展・巡回展の開催、木版画大賞事業の実施、講座等の開催	川上澄生美術館
5	収蔵品の充実と活用促進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	未収蔵作品の発掘、収蔵作品の公開・貸出	川上澄生美術館
6	川上澄生美術館施設整備事業	美術品保護のための温湿度管理機器の整備	川上澄生美術館

### (3) 生涯活躍の推進

#### ③地域文化の保存と活用

##### 現状と課題

- ・文化財等の地域資源の保存は、行政・研究団体・地域が一体となって取り組む必要があります。
- ・「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されましたが、後継者が不足しています。
- ・図書館を利用したことがない市民が過半数を超えています。
- ・人の感性や表現力を高めるためには、読書は重要であり、子どものうちから本を読む習慣を身につける必要があります。

##### データ・イメージ

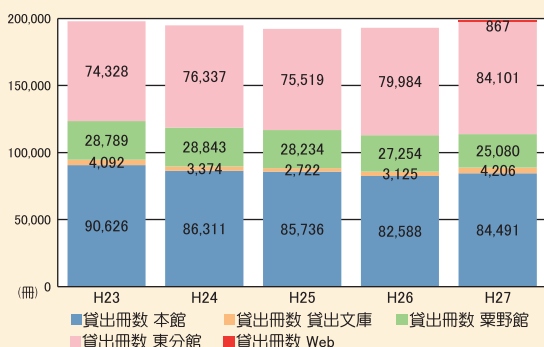
i 「鈴木石橋と麗澤之舎」展



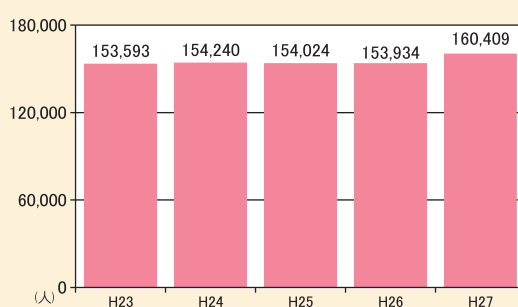
ii 「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」



iii 子どもの読書量推移



iv 図書館利用者数推移



v 「ブックスタート」の様子



##### 背景（関連法令等、関連計画）

- ・文化財保護法・文化財保護条例（県・市）・公文書館法・公文書管理法
- ・無形文化遺産保護条約・図書館法・子どもの読書活動の推進に関する法律

計画目標

- ・地域資源の資料を収集・調査・保護し、故郷の歴史・文化を正しく伝え、まちづくりや学校教育にも活用し、郷土愛を育てていきます。
- ・ユネスコ無形文化遺産登録となった「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」などの文化資源の保存・継承に向けて、後継者対策を推進します。
- ・図書館のレファレンスサービスの活用を促進させ、市民の学習環境の充実を図ります。

A) 文化財指定の推進と保護 (事業 No. 1)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
文化財の指定件数 (毎年1件ずつ増加)	1件	1件	1件	1件	1件

B) 図書館利用の推進 (事業 No. 8、9)

年度	H29	H30	H31	H32	H33
市民の図書館利用者の割合	45%以上	45%以上	45%以上	45%以上	45%以上

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	文化財指定の推進と保護	文化財の指定・保護・保存と活用のための支援	文化課
2	地域資源の調査と保存	資料の収集・調査・保存	文化課
3	郷土愛を育む授業支援の推進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">総</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	郷土理解授業に活用できる教材の作成、学校への出前講座の実施	文化課
4	ユネスコ無形文化遺産の継承 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">主</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">総</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	保存団体と連携した「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」の執行支援、保護	文化課
5	鹿沼まるごと博物館事業の推進	文化財関連施設の管理、地域資源を活用した学習の推進	文化課
6	地域文化資源を生かすまちづくりの推進 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	文化芸術情報のデータベース化、地域の文化資源を活用したまちづくり事業の支援	文化課
7	子どもの読書活動の推進 (再掲)	本を読む子どもの集い・ブックスタート (乳幼児期に本を通して親子のふれあいの大切さを伝える)・おはなし会の実施、学校図書館との連携「読書通帳」の導入 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">New!</span>	図書館
8	読書普及事業の推進	文学講座・貸出文庫・図書館寄席・リサイクル市等の開催	図書館
9	図書館資料管理と業務システムの充実	幅広い資料の受け入れでレファレンスサービス(調べものなどの資料を求める方のお手伝い)を充実し業務システムを円滑に運用	図書館
10	快適で親しまれる図書館の整備	施設の整備・修繕により安全で快適な学習環境を提供	図書館

### (3) 生涯活躍の推進

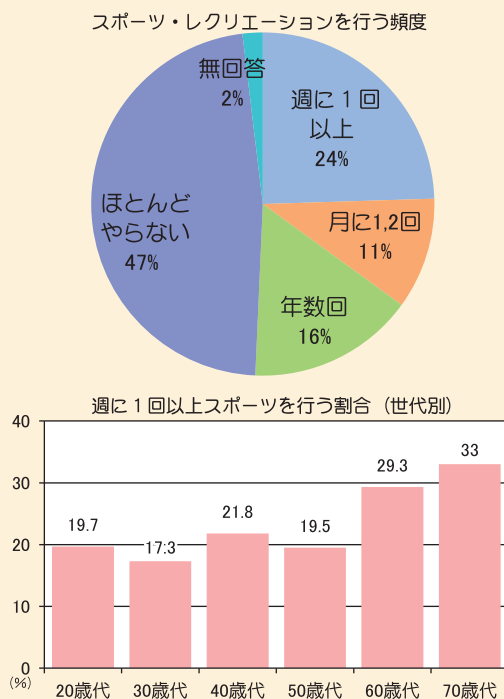
#### ④スポーツ交流の促進

##### 現状と課題

- ・市民の健康保持と体力の向上を図るため、レクリエーションをはじめ、子どもから高齢者まで世代に応じた各種スポーツ関連事業を展開しています。
- ・老朽化の進んだスポーツ施設の適切な改修、時代に即した整備・統合を進めています。
- ・東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地や、栃木国体での活用を見据えた施設整備が必要です。

##### データ・イメージ

##### i スポーツ実施状況 (H26 市民アンケート)



##### ii 鹿沼のスポーツ選手 (平野早矢香さん)

2012年ロンドンオリンピック  
卓球競技・女子団体銀メダリスト



※写真提供：卓球王国

##### iii 鹿沼さつきマラソン大会



背景 (関連法令等、関連計画)

- ・スポーツ基本法



計画目標

- ・地域社会の活力維持・向上のためにも、年齢や性別にかかわらず、誰もがスポーツに親しめる環境の整備が重要であり、「市民ひとり1スポーツ」を目指して、様々なスポーツの機会を提供していきます。
- ・総合型を含む地域スポーツクラブなどの設立・活動を支援していきます。
- ・スポーツに関わるきっかけをつくり、スポーツを通して健康増進を図っていきます。
- ・プロスポーツ選手と子ども達との交流機会を通し、基礎的技術習得や競技力向上を図り、生涯スポーツに取り組むきっかけづくりなどを支援していきます。
- ・市民の多様なスポーツニーズに対応し、鹿沼運動公園をはじめ、計画的にスポーツ施設や器具等の維持管理を進めていきます。

A) 定期的にスポーツをする市民の増加（事業 No. 1）

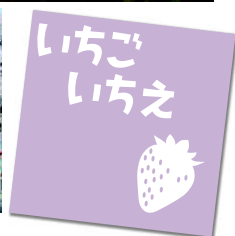
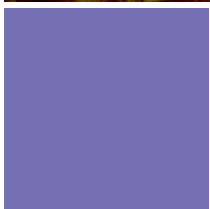
年度	H29	H30	H31	H32	H33
週1回以上スポーツ行っている市民の割合	26%	—	28%	—	30%

B) 友好都市とのスポーツ交流の推進（事業 No. 3）

年度	H29	H30	H31	H32	H33
都市スポーツ交流事業報奨金交付団体数	9団体	9団体	10団体	10団体	11団体

具体的取組

No.	事業名	事業内容	所管課
1	地域スポーツクラブ等の育成・支援 <span style="float: right;">総</span>	地域スポーツクラブが開催する教室等の支援、総合型を含む地域スポーツクラブの設立・活動支援、運動場・ゲートボール場等の施設維持支援	スポーツ振興課
2	各種スポーツイベント・大会の開催	鹿沼さつきマラソン大会、体力づくり事業、駅伝大会等スポーツイベントの開催	スポーツ振興課
3	スポーツ交流の推進	スポーツ交流事業への参加支援、マラソン大会交流事業による民間交流支援、プロスポーツ選手との交流機会の提供	スポーツ振興課
4	スポーツ団体やスポーツ指導者の育成	市体育協会及びスポーツ少年団の活動支援、スポーツリーダーバンクの拡充	スポーツ振興課
5	スポーツ施設の総合管理 <span style="float: right;">主</span>	スポーツ施設の維持・管理・耐震化・整備統合	スポーツ振興課
6	学校施設の開放と活用促進	学校体育施設の開放による生涯スポーツの推進	スポーツ振興課



■ Challenge 15 project 2017 ~ 2021 ■